

言

勅授

丙  
一三九六廿三

立案	昭和	年	月	日
決裁	昭和	年	月	日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

海軍中將男爵伊集院松治外一名  
叙位ノ件

昭和九年六月三十日裁可各月各日達  
臺帳記入月日官報報告濟

裏面白紙



海軍中將男爵伊集院松治外一名

叙位ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十九年六月二十日

内閣總理大臣東條英機



内

閣

令第五三四號

起案

昭和十九年六月五日

裁可

昭和十九年六月十日

施行

昭和 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

海軍中將男爵伊集院松治外一名  
叙位ノ件

内閣

本件ハ日付週及ノ死亡者  
各月各日付ヲ以テ叙  
取計ハレ度

裏面白紙

第 五三四 號

案 起	昭和十九年六月五日
裁可	昭和十九年六月十日
施行	昭和十九年六月十日

内閣總理大臣

内閣書記官長

印

内閣書記官



海軍中將男爵伊集院松治外一名  
叙位ノ件

内閣

本件ハ日付遞及ノ死亡者ニ付特ニ  
 各月各日付ヲ以テ叙位發令方  
 取計ヘレ度  
 内閣

内閣八位第 五三四 號

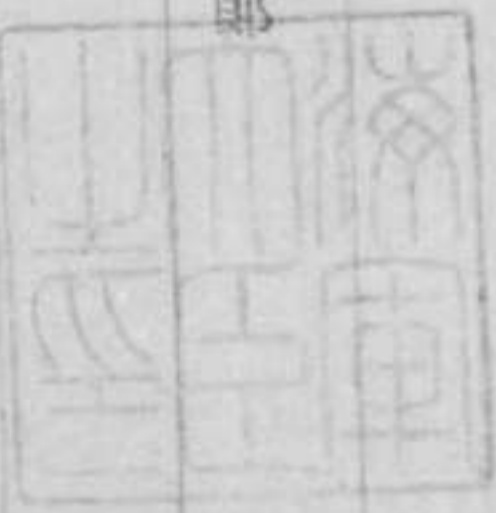
敍從三位 昭和三十九年四月五日 正四位 昭和三十九年五月五日 海軍中將 正四位男爵 伊集院 松 治

右文武官 敍位進階 内則 第三條ニ依リ

謹テ 奏ス

昭和十九年六月十九日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



海軍

内閣人海位第五号

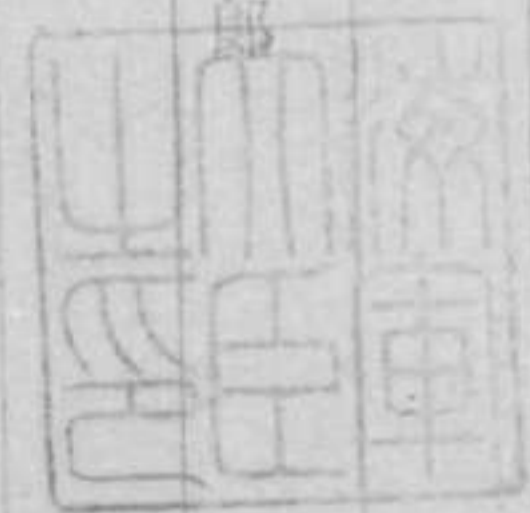
敍從<sub>正</sub>五 昭<sub>和</sub>十九年六月九日 海軍中將正五位 門 前 鼎

右文武官敍位進階内則第三條ニ依リ

謹テ 奏ス

昭和十九年六月十九日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



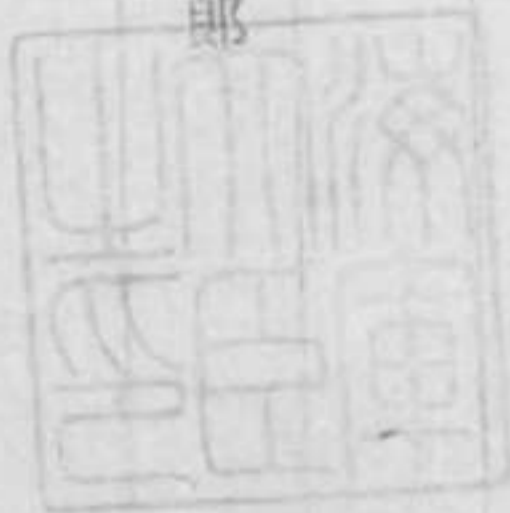
海 軍

日報  
登載

海秘入第 一一五六號

昭和十九年六月十九日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



内閣總理大臣 東條 英機 殿

海軍中將男爵伊集院松治被位ノ件別紙上奏書進達ス  
追テ本件特ニ進級ト同日附發令相成候様取計ヲ得度

(終)

海軍

19.6.19

付受

208

海秘人第一一五八號

昭和十九年六月十九日

海軍大臣 鳴田 繁太郎



内閣總理大臣 東條 英機 殿

海軍中將門前 鼎敘位ノ件別紙上奏書進運ス

追テ本件特ニ進級ト同日附發令相成候様取計ヲ得度

官報  
不登載

海軍

(終)

内閣  
19.6.19  
付受 209



裏面白紙

丙發 三三九

一海軍中將正四位男爵伊集院 松治外一名  
右銀位相成候ニ付此旨及傳達候 位記ハ追テ可及  
回送候也

昭和十九年六月二十二日

宗秩寮總裁三爵武若小路公共

海軍大臣 嶋田繁太郎 殿

發令士 天 三番号

海和入文 二五八号 (發五月二十四日)

同 二五八号 (六月九日)

官 内 省

二號野紙

昭和十九年六月廿八日  
一三六五

昭和十九年六月三十日

内閣官房人事課長 三橋 則雄

宗秩寮總裁子爵 武若小路 公 共 殿

宮内事務官

本月二十日上奏御裁可ヲ仰キタル海軍中將男爵伊集院松治外三名叙位ノ件及海軍中將男爵伊集院松治外三名位階追陞ノ件中海軍中將男爵伊集院松治ニ付テハ三月二十四日戦死シタル旨別紙添附書類ニ記載致シ候處別紙寫ノ通右「三月」ハ「五月」ノ誤ニシテ訂正方海軍省人事局長ヨリ申出之有候條右「三月」「五月」ニ訂正スルコトト致度此段御依頼ニ及ヒ候  
是亦本件ハ別紙添付ニ有候

裏面白紙



人秘第一〇號ノ八〇

昭和十九年六月二十三日

海軍省人事局長 閣

内閣官房人事課長 殿

官記記載月日訂正ニ關スル件照會

本年六月十九日海秘人第一一五五號ヲ以テ海軍少將男爵伊集院松治外  
 二名進級ノ件進達相成夫々記載ノ月日附ヲ以テ發令相成候處右ノ中海  
 軍中將男爵伊集院松治ハ昭和十九年五月二十四日戰死シタルモノナル  
 コト判明致候ニ就テハ今更不都合ノ次第ニ有候へ共之ガ訂正方可然御取計相成度  
 追テ同日附海秘人第一一五六號竝同第一一五九號ヲ以テ進達相成候  
 敘位ノ件モ同様訂正方御取計ヲ得度  
 尙右ハ作戰部隊トノ連絡不充分ノ結果ヨリ生ジタル**錯誤**ニ有之誠ニ  
 遺憾ニ堪ヘズ取扱當事者ニ對シテハ將來ヲ戒メ置候

(終)

裏面白紙

裏面白紙

丙 發第三〇五三 號

一海軍中將從三位男爵伊集院松治外名

右位記及回送候條交付方御取計有之度候也

昭和十九年十一月十日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

海軍大臣米内光政殿

海和人字一五八号口二五八号

宮内省

二號掛紙